

平成24(2012)年度版

ヒューマンライツ

【Human-Rights(人権)】



平成23年度別府市小・中学生「人権ポスター」別府市長賞

別府市立亀川小学校2年 むらおか 村岡 きさら 希沙良

 別府市

市民のみなさまへ

別府市では、人権が尊重されるこころ豊かな国際観光温泉文化都市の実現をめざし、すべての市民があらゆる場面においてお互いの人権を尊重する人権教育・啓発を推進しています。

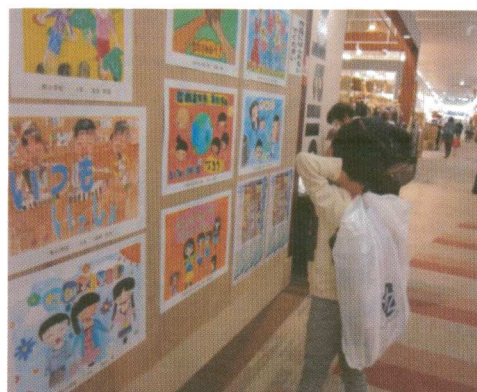
市民一人ひとりのみなさまが、お互いの人権を尊重し合うまち・別府市を築くために、「ヒューマンライツ」を役立てていただければ幸いです。



8月 差別をなくす市民の集い（中央公民館）
～差別をなくす運動月間事業～



人権教育学級



別府市立小・中学校児童生徒「人権ポスター」展
（ゆめタウン別府3階フードコート）



12月 人権を守る市民の集い
（ビーコンプラザ国際会議室）
～人権週間事業～



人権七夕展（市役所本庁）

人権教育及び人権啓発の推進に関する法律

〈平成12年12月6日公布・施行(全9条)〉

この法律は、次のことを目的として制定されました(第1条)。

人権尊重の緊要性に関する認識の高まり、社会的身分、門地、人種、信条又は性別による不当な差別の発生等の人権侵害の現状その他人権の擁護に関する内外の情勢にかんがみ、人権教育及び人権啓発に関する施策の推進について、国、地方公共団体及び国民の責務を明らかにするとともに、必要な措置を定め、もって人権の擁護に資すること。

社会的身分：ある集団・組織における地位・資格や社会的な序列・階級・立場・職階

門地：家柄、家格、出自

人種：人類を骨格・皮膚・毛髪等の形質的特徴によって、一般的には皮膚の色により三大別する（白色・黒色・黄色人種）

信条：堅く信じて守っていることがら、信念、主義、教義

性別：男性と女性の区別

そして、この法律における定義は次のようになっています(第2条)。

○人権教育とは「人権尊重の精神の涵養を目的とする教育活動」

○人権啓発とは「国民の間に人権尊重の理念を普及させ、及びそれに対する国民の理解を深めることを目的とする広報その他の啓発活動」

別府市では、同和問題をはじめあらゆる人権問題の解決を図るため、人権教育・啓発に関する施策を策定し推進してまいります。

平成23年度別府市小・中学生「人権標語」 別府市長賞

広げよう やさしい心と おもいやり

別府市立境川小学校5年 ながとみ 永富 ほの 模乃

同和問題

同和問題は、明治時代以降も昔の身分に基づく差別が残り、一定の地域の住民やその子孫に対して、すべての人々に平等に保障されている基本的人権を侵害している社会問題です。

<キーワード>

- 同和問題の歴史
- 教科書無償、統一応募用紙
- ネット上の差別書き込み

女性をめぐる人権問題

今なお根強い男女の固定的な性別役割分担意識やセクハラ(性的嫌がらせ)やDV(夫や恋人からの暴力)等、女性に対する人権侵害は依然として大きな社会問題です。

<キーワード>

- 性別役割分担意識
- セクハラ、DV
- 男女共同参画社会

子どもをめぐる人権問題

いじめや不登校、虐待等、子どもをめぐる事件が深刻な社会問題として注目され、背景にある複雑な要因は、「子どもの権利」が十分に保障されていない大きな人権問題です。

<キーワード>

- 子どもの権利条約
- いじめ、不登校、虐待
- 情報と人権

高齢者をめぐる人権問題

平均寿命の伸びや医療技術の進歩等を背景に高齢化が進むなか、介護や財産管理、遺産相続をめぐるトラブル、詐欺や悪質商法による被害、高齢者虐待等は、深刻な人権問題です。

<キーワード>

- シルバーハラスメント
- 高齢者のための国連五原則
- 成年後見制度

平成23年度別府市小・中学生「人権標語」 別府市教育長賞

一人じゃない 一人にさせない 思いやり

別府市立中部中学校 1年 かな や きよし 金谷 清

障がいのある人をめぐる人権問題

障がいについての無理解や配慮不足から、誤解や偏見が生じ、虐待や暴行等、障がいのある人の自立や社会参加が阻まれ、生存権が十分に守られているとはいえない人権問題です。

<キーワード>

- ユニバーサルデザイン
- ノーマライゼーション
- 障害者自立支援法

外国人をめぐる人権問題

言語、宗教、習慣、文化などによる違いを受けとめられず、アパートやマンションへの入居や公衆浴場での入浴を断ったり、雇用差別をしたり等は人権問題です。

<キーワード>

- 国際理解、国際交流
- 多文化共生社会
- 人種差別撤廃条約

医療をめぐる人権問題

HIV感染症やハンセン病をはじめ、難病患者等さまざまな病気に対し、誤った知識や思い込みにより形成された固定観念に基づく偏見や差別は、基本的な人権に関わる大きな問題です。

<キーワード>

- レッドリボン
- ハンセン病
- インフォームド・コンセント

さまざまな人権問題

ネット社会の人権侵害等、社会が複雑、多様化し、また人々の人権意識高揚により、新たな人権課題や今まで見過ごされていたような人権課題が生じることが考えられます。

<キーワード>

- 個人情報の保護
- 性同一性障がい
- アイヌの人々

平成23年度別府市小・中学生「人権標語」 別府市人権問題啓発推進協議会長賞

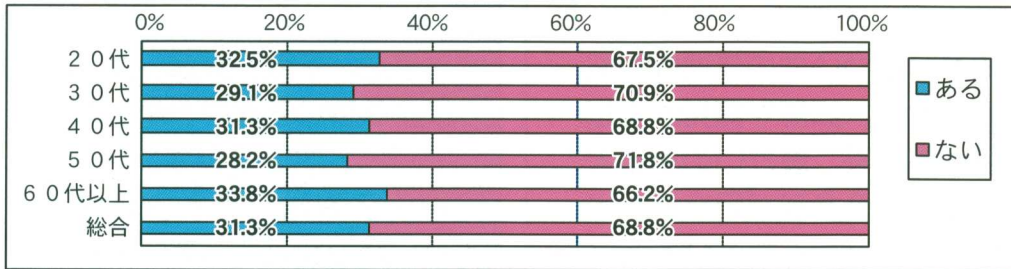
とばそうよ 空いっぱい に やさしさを

別府市立西小学校3年 かめい ゆぎ 亀井 優希

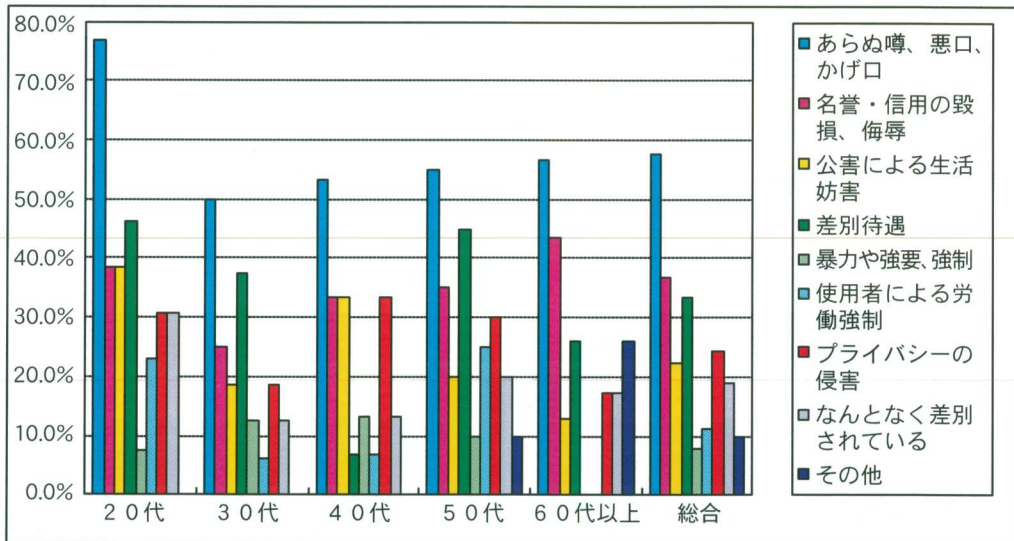
市民意識調査より

平成22年8月実施

『自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか』



『自分の人権が侵害された内容はどのようなものですか』



ご相談に応じます

無料人権相談

内 容：家庭内の問題、子どもの問題、その他の人権問題に関すること
 相 談 日：毎月第2水曜日
 相 談 時 間：10:00～15:00
 相 談 場 所：市役所1階女性相談室
 相 談 員：人権擁護委員
 問 い 合 せ：別府市人権同和教育啓発課
 ☎ 21-1291

特設人権相談所（年3回）

内 容：金銭、登記、相続、家庭内の問題、借地・借家、いじめ、名誉侵害、その他の人権問題
 相 談 月：6月、8月、12月
 相 談 時 間：10:00～15:00
 相 談 場 所：市役所1階レセプションホール
 担 当 者：法務局職員、人権擁護委員
 問 い 合 せ：大分地方法務局
 ☎ 097-532-3368

平成23年度別府市小・中学生「人権標語」佳作

ありがとう ともだちになる じゅもんだよ

別府市立境川小学校1年 祝部 日向子

本課では各種『学びの機会』の提供に努めております。どうぞご利用ください。

啓発冊子の発行と活用

各種研修会
(企業・団体・市職員・公民館等)
幼・小・中・特別支援・高・大学教職員
へ配布

人権教育学級

年間9回(6～2月の毎月第2木曜日)
市内公立幼・小・中・特別支援・高
PTA会員対象
市役所5F大会議室 他

身近な人権講座

年間10回(4～2月の毎月第4木曜日)
市民の方々や市職員対象
中央公民館

人権啓発センター各種事業

春木っ子学習室
人権サークルふれあい(毎月第2金曜日 ※6月のみ第3金曜日 10:00～12:00)
人権ミニ講座(5・8・11・12月の第3金曜日 10:00～11:30)
人権啓発センターだよりの発行
各種人権・同和問題啓発参考図書とビデオ・DVDソフト貸出

市報「べっぷ」等を通じて

年間12回(毎月1回)人権問題啓発記事
年間2回(8月・12月)人権問題啓発推進広報紙

人権・同和問題研修会の講師派遣

企業、団体、他の研修会への講師派遣

8月(差別をなくす運動月間)

差別をなくす市民の集い
同和問題など人権問題講演会等

12月(人権週間)

同和問題など人権問題講演会等

じんけんフィルムふれあいフェスタ

7月～8月
(市内各地区公民館、児童館等)
市民、児童生徒、保護者、教職員等対象

人権啓発パネル・ポスター展

12月(人権週間)
人権啓発パネル、児童生徒人権作品等



平成23年度別府市小・中学生「人権標語」佳作

大じょうぶ 一人じゃないよ 仲間だよ

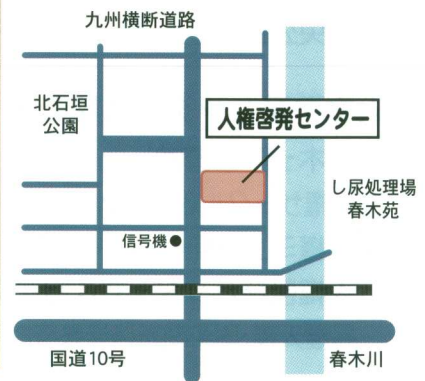
別府市立朝日小学校5年 いしい 石井 るな 月菜

人権尊重のまちづくりをめざして

市民のみなさまの人権学習の中核施設として、また地域のみなさまの生涯学習活動の拠点として、別府市人権啓発センターをご活用いただくことにより、人権が尊重されるまちづくりをめざします。

施設使用のご案内

- 使用時間 9時～17時（土・日・祝日は休館）
- 使用料金 会議室、多目的室（調理室）各1室につき
9時～12時：420円
12時～17時：525円
9時～17時：840円
*使用する場合はあらかじめお問い合わせ願います。
- 申請方法 申請書での申込みとなります。
*申請書は、人権啓発センター及び市役所4階の人権同和教育啓発課にあります。
また、別府市HPからダウンロードできます。
- TEL 人権啓発センター 23-6163
人権同和教育啓発課 21-1291（直通）



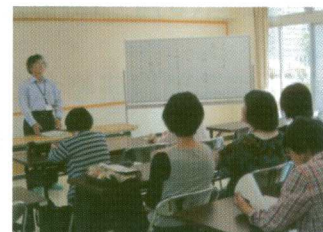
春木っ子学習室



人権サークルふれあい



人権ミニ講座



平成23年度別府市小・中学生「人権標語」佳作

植えようよ やさしさという 花の種

別府市立浜脇中学校 1年 佐藤 かつき 歌月

別府市長賞 『十人十色』くみんな違う色く』

山の手中学校 三年 浅野 香寿美

私には、小学校三年のときから仲が良く、大好きな友達がいいます。その子は、生まれつきの関節の病気で、歩くときに内股になってしまします。だけど、とても元気で優しく、すぐおもしろい子です。

私が小学校三年のとき、クラス替えがあり、私は自分から話しかけるのが苦手だったので、どうしようかと困っていました。そんなときに話しかけてくれたのが、その子(Nちゃん)でした。すぐ明るく話しかけてくれて、私もすぐに打ち解けられたのを今でも覚えています。

ある日、クラスのNちゃんの幼なじみの男の子とNちゃんが、けんかをしていました。すると、その男の子がNちゃんに向かつて、

「内股女！」

と大きな声で言っていました。だけど、Nちゃんは何もないうな顔をして、私のところへ来て、

「一緒に帰ろ。」

とだけ言って、私達は教室をあとにしました。その帰り道、少し歩いたところでNちゃんが急に立ち止まったので、私は何だろうと思つて振り返ってみました。すると、そこには悔しそうに泣きながら立っているNちゃんがいきました。私は何と声をかけたらいいいのか分からずに戸惑っている、Nちゃんが、

「悔しい、悔しい。」

と泣きながら言いました。私は、その悔しいという意味がすぐに分かったので、

「それ以上言わなくていいよ。」

とだけ言つて背中をさすりました。私は、このとき初めてNちゃんの本

当の気持ちを知つたのです。そして今まで自分の病気を気にして生きてきて、誰に何を言われても、笑顔で明るく何もなかったかのように耐えてきたNちゃんのことを考えると、涙が出てきました。Nちゃんにひどいことを言つた人たちへの気持ちが分からなかったこれまでの自分への悔しさが入り交つて、自分の部屋で一人泣いていました。

その翌日、私が学校へ行くと、そこにはいつも通りの笑顔のNちゃんがいきました。そして、その日の国語の授業でのこと。先生が紙を一枚配り、

「その紙に自分が好きな四字熟語を書いてください。」

と言いました。私は、何を書こうか迷つたけど、ふと頭に思い浮かんだ『一期一会』を書くことにしました。そして、国語の授業も終わり、帰る準備をしてNちゃんと一緒に帰っていると、私はさっきの国語の授業を思い出しました。私はNちゃんに聞きました。

「四字熟語、何て書いた。」

すると、Nちゃんは、

「私は、『十人十色』って書いたよ。」

と笑顔で言つてきました。私は、

「何で。」

と聞いてみました。すると、

「『十人十色』って、みんなそれぞれ顔や体、考えが違うという意味だけど、何かみんなそれぞれに違う色を持つてるんだよって、言つてくれているみたいで大好き。」

とNちゃんは言いました。私はこの時から、『十人十色』という四字熟語が好きになりました。

この世界では、毎日元気に生きている人、障がいがあるけれど毎日明るく生きている人、いろんな人がいます。決して、同じ人間などいないと思います。みんな違うのがあたりまえ。その違いを認めるか認めないかで、人の心はすぐ変わると思います。違いを認めたら、差別もいじめもなくならないと思います。このことは、Nちゃんがいたからこそ、私は考えることができました。人は、みんな違う。だから、一人一人、それぞれ色がある。『十人十色』

平成23年度別府市小・中学生「人権作文」

別府市教育長賞「私の名前」

境川小学校 五年 戸田 幸妃 セリーヌ

私は、この名前を見たらわかると思いますが、日本人とフィリピン人の血が入ったハーフです。幼稚園に入ったばかりの時は、自分がハーフということ、あんまり気にしていませんでしたが、大きくなるにつれて、「おまえって、外国人なんだろう?」
と、言われることが多くなり、自分がハーフであることが、気になり始めました。

お父さんとお母さんが生まれた国がちがうから、仕方がないと思っても、気になるその気持ちをおさえることだけは、どうしてもできませんでした。しかし、私には、お兄ちゃんがいます。また、同じクラスやちがう学年にも、自分と同じ立場の人がいることに気づいて、少しずつ勇気づけられてきました。そのおかげで、今は、自分がハーフであることを気にせずに、自分はみんなと同じ人間なんだと思ひ、楽しく活動することができています。

次に、自分の名前について話そうと思っています。私の名前は、「戸田幸妃セリーヌ」です。「幸妃」は、「ゆい」と読むのですが、初めて会う人には、「ゆひ」や「ゆき」とよくまちがえられます。たまには、「何て読むの?」

と、聞かれたりします。私は、「幸妃セリーヌ」という名前は、すごく

好きなのですが、自己紹介する時には、みんながちゃんと覚えてくれるだろうかとすごく心配で、自分の番が近づくとともに、心臓がドキドキと激しくなってしまうます。

「私の名前は、戸田幸妃セリーヌです。」

と言う時、どうしても小さな声で言ってしまうので、

「もう一度、言ってください。」

と言われることが多くあります。それで、毎回後悔してしまいます。参観日の時も、はずかしくて小さな声になるので、お母さんからいつも、

「遊んでいる時の方が、声がいつも大きいじゃないの。」

と、注意されてしまいます。この名前のことを気にしていたら、自分が嫌になりそうだし、一生この名前を背負っていくので、こんなことはダメだと思ひ、この気持ちを打ち消そうと、いつも心のどこかでしています。それで、家に帰ると、

「大丈夫……。名前が長いのは、私だけじゃない……。」

と、心の中で言い続けています。だから、少しずつ気にならなくなっていて、きつとそう信じる気持ちで効果が出たのかもしれない。それに、一番大切にしていた気持ちは、お父さんとお母さんが、何日も私のことを思っつけてくれた名前だから、それを忘れてはいけないということです。

いつも、友だちから「ゆいちゃん」と呼ばれているのですが、五年になつて先生から、「セリーヌ」と、今までと違う呼び方をしてくれるので、うれしく感じました。

自分の名前が、「戸田幸妃セリーヌ」ということと同じく、自分がハーフということに誇りを持って、一日一日を大切に過ごしたいと思っています。

平成23年度別府市小・中学生「人権作文」

別府市人権問題啓進協議会長賞

「お姉ちゃん、ありがとう」

西小学校 三年 後藤 大空

わたしには、お姉ちゃんがあります。わたしはときどき、お姉ちゃんとけんかをします。でも、お姉ちゃんは、わたしがこまっているときや、なやんでいるときは、助けてくれます。

わたしは、二年生のとき、ほいく園からの親友と大げんかをしてしまいました。親友から、

「ほかの友だちと遊ぶから、遊べん。」

と言われたのがきっかけでした。わたしは、そのことがぐちゃぐちゃで、親友にたくさんもんくを言ってしまうました。わたしは、親友とけんかしたことを、お母さんにもお父さんにもそうだんできなかつたけど、お姉ちゃんにだけうちあけました。いつもは、けんかばかりしているお姉ちゃんだけど、なぜかお姉ちゃんにだけは理由を話すことができました。わたしは、けんかしたときのことを思い出すと、悲しくてお姉ちゃんの前でないてしまいました。そのとき、お姉ちゃんは、わたしのことをだきしめてくれました。そして、はじめは、

「ほかの友だちと遊んだら。」

と言っていたけれど、本当は「ごめんね。」って言いたいというわたしの気持ちを聞くと、

「だいじょうぶ。わたしも何回かそんなけいけんしたことがある。でも、負けるな。だいじょうぶだから。ゆう気を出してあやまってみてごらん。」

と言ってくれました。そのとき、お姉ちゃんのやさしさがうれしくて、むねがじいんとあつくなりました。

つぎの日、学校で親友と話をしたけれど、わたしはすなおになれなくて、おこっしまいました。わたしは、「なんですなおになれないのかな。」と思ったけど、きのうのお姉ちゃんのアドバイスを思い出して、昼休みにゆう気を出してあやまりました。「親友は、何ていうだろう。」と、どきどきしていました。そしたら、親友も、

「わたしも、ごめんね。」

とあやまってくれました。わたしは、ほっとして、とてもうれしくなりました。ゆう気を出してあやまったので、わたしも親友もえがおになりました。今までよりもつとなかよくなつたような気がしました。

家に帰って、その日のことをお姉ちゃんにつたえると、お姉ちゃんは、

「よかつたね。」

とえがおで言ってくれました。わたしも、お姉ちゃんに、

「ありがとう。」

とつたえました。

わたしは、今でもお姉ちゃんとけんかをします。でも、わたしのことをとてもよくわかつてくれて、本当にこまっているときに助けてくれるお姉ちゃんが大好きです。そして、わたしは、そんなお姉ちゃんに心の中でいつも言っています。

「お姉ちゃん、ありがとう。」



平成23年度別府市小・中学生「人権ポスター」
別府市人権問題啓発推進協議会長賞

別府市立青山中学校2年 とおしま 遠嶋 あやめ



平成23年度別府市小・中学生「人権ポスター」
別府市教育長賞

別府市立南小学校5年 おはら 小原 わか 和華

平成24(2012)年度 **ヒューマンライツ**

編集発行 別府市・別府市教育委員会
別府市人権問題啓発推進協議会
〒874-8511 別府市上野口町1番15号
TEL 0977-21-1291
人権同和教育啓発課



感想やご意見がございましたら上記へお寄せください。